

専門ゼミB		演習	講師 菅谷 美沙都
科目カテゴリ	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130302

1. テーマ

現代社会におけるスポーツの文化的な価値を考える：スポーツマネジメント・スポーツ社会学的アプローチ
 キーワード：学校運動部活動，地域スポーツ，プロスポーツ，スポーツ施設，スポーツ指導者

2. ゼミのねらい・概要

スポーツは現代社会において極めて重要な社会現象です。オリンピック，サッカーワールドカップ等から学校運動部活動まで，多くの人々がスポーツとの関わり（する・見る・支える）を持つようになりました。その関わりは，果たして人々の生活を豊かにするものなのでしょうか。多くの学生の皆さんは部活動に取り組んでいる（きた）と思いますが，部活動は誰のため，何のために実践しているのでしょうか。本ゼミでは，皆さんに身近な問題を取り上げ，現代社会におけるスポーツの社会文化的な価値についてスポーツ経営学・社会学的視点で分析・考察できるようになることを目指します。

専門ゼミBでは，各自卒業論文のテーマ設定を視野に入れ，スポーツ経営学の各実践領域における課題やトピックを議論します。また，「スポーツで社会課題を解決するビジネスモデル」をテーマに，グループでビジネスモデルを考案し，ゼミ内コンペを行います。さらに，量的調査の技法を学び，卒業研究での調査実施に向けた準備を進めていきます。

3. ゼミ計画

1. オリエンテーション，顔合わせ	9. プレゼンテーション②（4グループ，総評）
2. ゼミ生全員によるフリーディスカッション	10. 卒業研究のテーマの検討（資料収集）
3. 問題提起・ディスカッション（国際紛争，貧困，経済格差…社会課題とは）	11. 先行研究の分析，研究手法
4. 問題提起・ディスカッション（社会課題解決のためにスポーツで何ができる？）	12. アンケート調査の手法①（質問紙の構成，尺度項目）
5. スポーツで社会課題を解決するビジネスモデルの考案①（ミッション，市場分析，ターゲティング）	13. アンケート調査の手法②（データの入力方法）
6. スポーツで社会課題を解決するビジネスモデルの考案②（ビジネスモデルの検討）	14. アンケート調査の手法③（データの解析，まとめ方）
7. スポーツで社会課題を解決するビジネスモデルの考案③（社会還元）	15. まとめ
8. プレゼンテーション①（3グループ）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

卒業論文のテーマを検討するために，様々な文献や先行研究を調べること。これらの自主学修には2時間以上が必要です。

スポーツニュースやスポーツに関する諸問題に興味を持ち，自らの意見や見解を考えること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

ゼミでのプレゼンの際，個別に講評（発表内容，発表の仕方等）をコメントします。

6. ゼミにおける学修の到達目標

本ゼミでは，現代におけるスポーツ現象やスポーツに関する社会的問題に対して，スポーツ経営学及びスポーツ社会学の視点から理解し，自ら分析できるようになることを目的とします。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミでの積極的な発言（40%）、課題への取り組み方（30%）、学習意欲（30%）等を総合的に評価します。

8. テキスト・参考文献

教科書は特に指定しません。適宜、資料・プリントを配布します。

9. 受講上の留意事項

ゼミはゼミ生の皆さんでつくるものです。他者の意見に耳を傾け、皆が気軽に意見を言い合える環境をつくっていきましょう。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本ゼミは競技スポーツ組織における実務経験を活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。